

令和5年度 第1回 湯沢市地方創生推進会議

日 時：令和5年7月11日（火）
午前10時
場 所：湯沢市役所 本庁舎3階
会議室 33・34

次 第

1. 開 会

2. 委嘱状交付

3. 市長挨拶

4. 案 件

- (1) 第2期湯沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について
- (2) 次期湯沢市総合戦略の策定概要（案）について
- (3) その他

5. 閉 会

湯沢市地方創生推進会議 委員名簿

令和5年7月11日現在

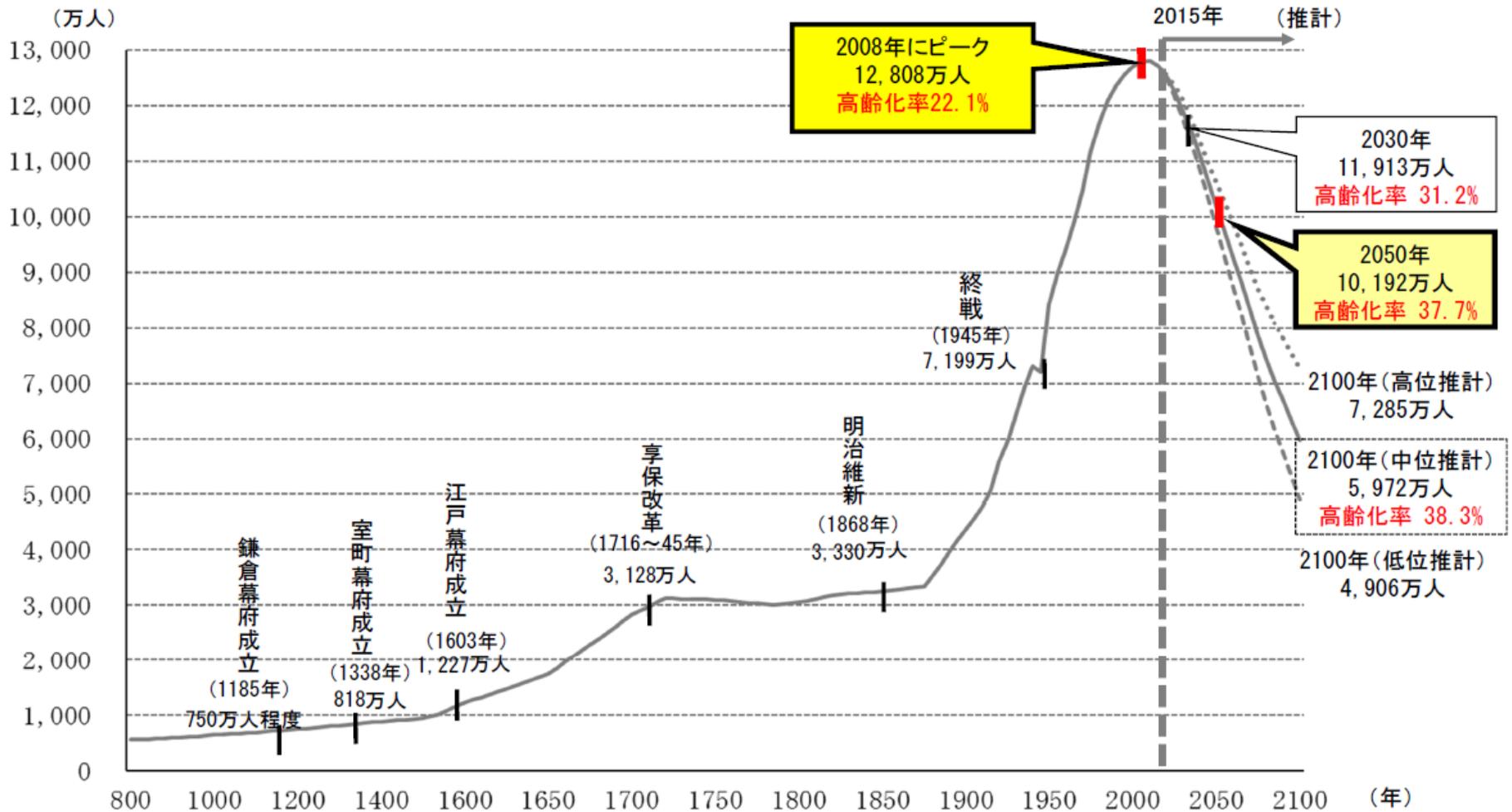
No.	氏名	所属	役職	区分
1	若狭 誠 一 朗	湯沢商工会議所青年部	会長	産
2	阿 部 俊 介	ゆざわ小町商工会青年部	部長	
3	坂 本 伸	こまち農業協同組合・営農部米穀課	課長	
4	眞 木 竜 助	湯沢市観光物産協会	事務局長	
5	松 原 寛	国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所	所長	官
6	斉 藤 貢 悦	湯沢公共職業安定所	所長	
7	斉 藤 守	秋田県雄勝地域振興局総務企画部地域企画課	課長	
8	石 沢 真 貴	秋田大学教育文化学部	教授	学
9	小 西 暁	北都銀行湯沢支店	執行役員 支店長	金
10	山 下 知 之	秋田銀行湯沢支店	支店長	
11	齊 藤 斉	連合秋田横手湯沢地域協議会	議長	労
12	上 野 佑 太	湯沢青年会議所	理事長	その他
13	高 橋 玲 子	合同会社Linpeace	代表	

まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要説明資料

2023.7.11

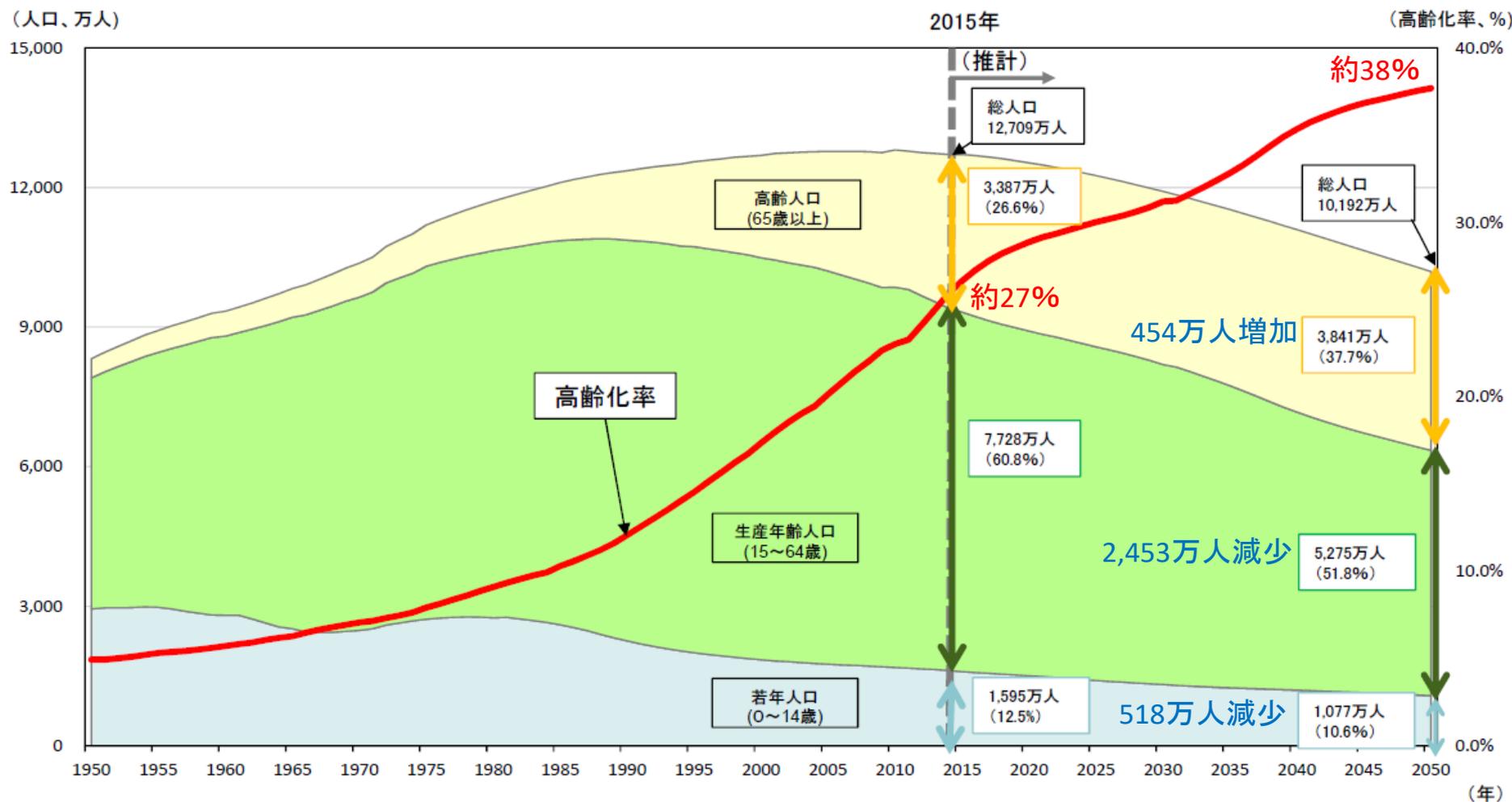
湯沢市

日本の人口動向



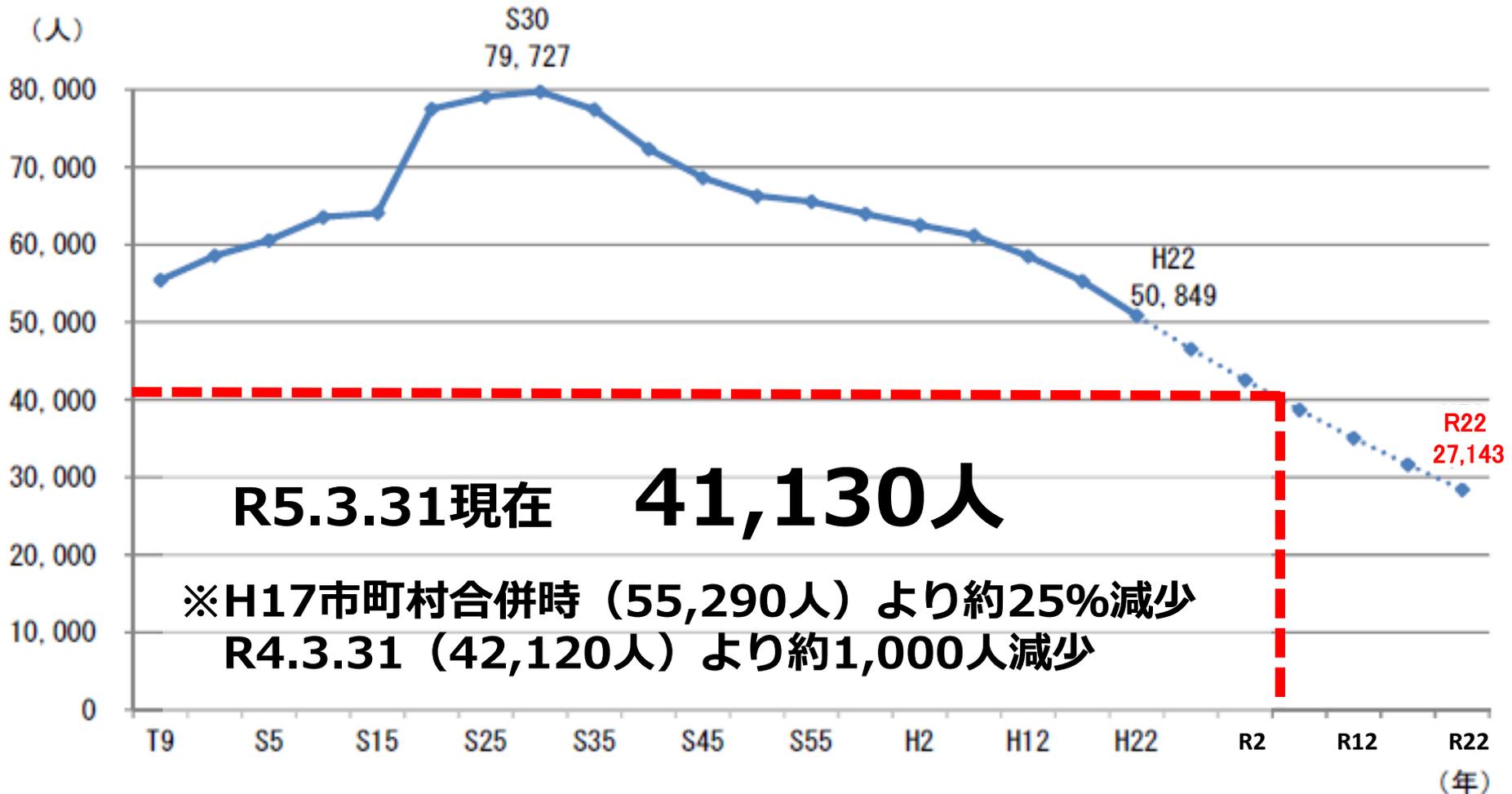
(出典) 1920年までは、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)、1920年からは総務省「国勢調査」。なお、総人口のピーク(2008年)に係る確認には、総務省「人口推計年報」及び「平成17年及び22年国勢調査結果による補間補正人口」を用いた。2020年からは 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」を基に作成。

日本の人口動向

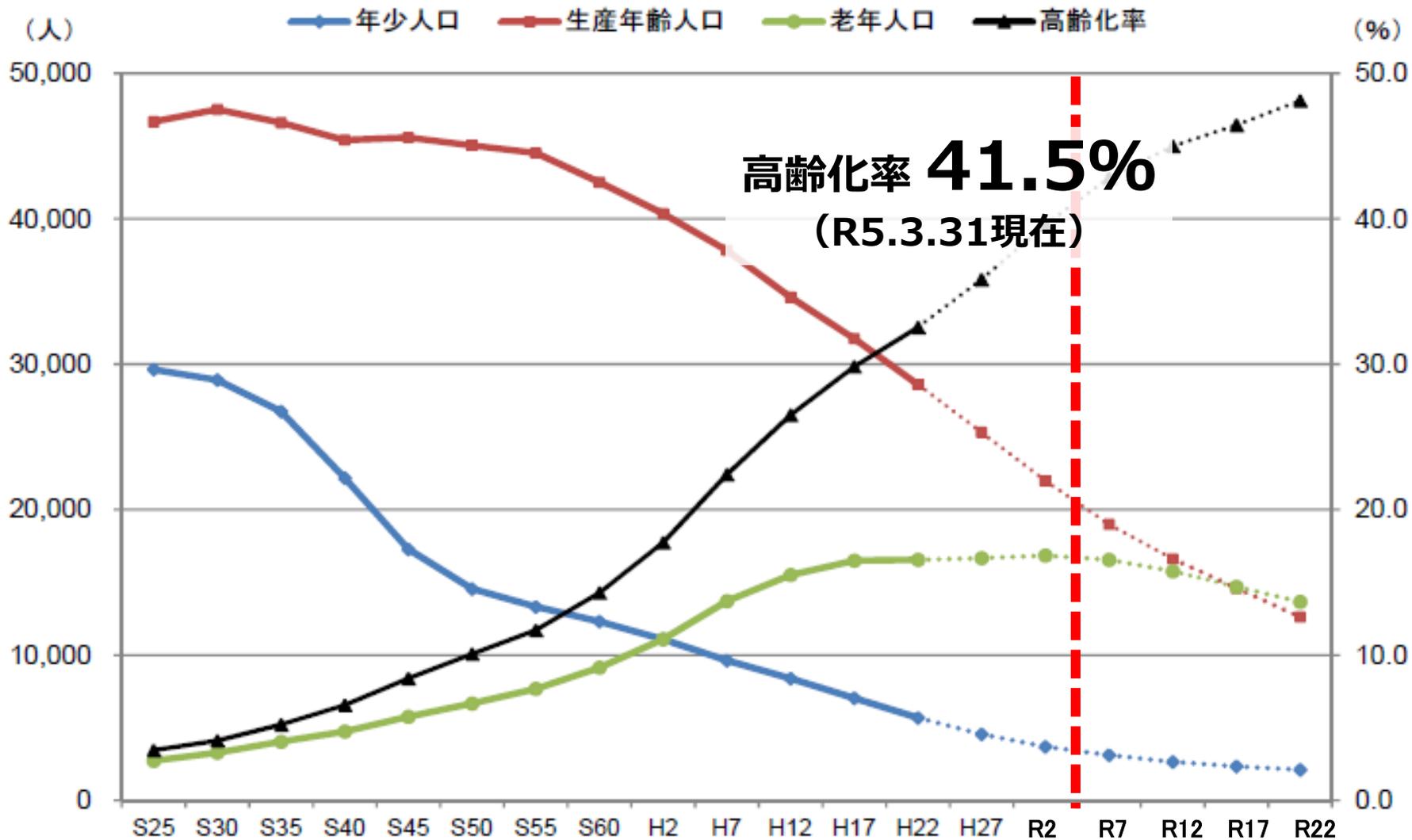


(出典)総務省「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」をもとに、国土交通省国土政策局作成

湯沢市の人口



湯沢市の区分別人口

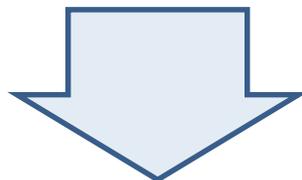


国による「まち・ひと・しごと創生法」の制定



2014年(平成26年)9月の第2次安倍改造内閣発足時に、東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることを目的に「地方創生」が政策決定されました。

この中で、各地域の人口動向や将来の人口推計(※人口ビジョンの作成)、産業の実態などを踏まえた、「地方版総合戦略」を策定し、地域の活性化とその好循環の維持の実現を目指しています。



湯沢市の人口ビジョン目標(長期目標 H27.12策定)

合計特殊出生率目標 2010年(H22) 1.45 ⇒ 2040年 2.07

将来推計(H25.3推計) 2040年 28,394人 ⇒ 2040年 31,664人

戦略1 新たな人の流れ・仕事の創出

市の重要課題

若者等の人口流出により地域全体が疲弊し、産業や経済が縮小

取組方針

新たな人の流れをつくり、多様な人材との
交流による地域の活性化を目指します

アウトカム（将来的に目指す成果）

社会減±0の実現

（転入、転出者の均衡を保つ）

※H30 転出超過数 310人 → 目標 0人

取組み事項

- ①関係人口の創出・拡大
- ②移住・定住施策の推進・強化
- ③テレワーク等の普及・促進

戦略2 若者への未来投資による定住の促進

市の重要課題

地域社会との関わりや体験が乏しく、地元を離れる若者が増加

取組方針

次世代を担う若者が活躍する社会の実現を目指します

アウトカム（将来的に目指す成果）

社会減±0の実現 若者等の定住化促進

（若者の回帰促進、地元就職率向上、
地域全体で若者を育成する仕組み）

※H31.3 高校卒 県内就職率 約20%、県外就職 約10%
大学等進学率 約70%

取組み事項

- ①奨学金施策振興による若者の回帰促進
- ②中学生（高校生）を対象とした短期留学支援
- ③キャリア教育の振興等による地元愛の醸成

戦略3 結婚・出産・子育て支援の充実

市の重要課題

ライフスタイルの変化や将来への経済的不安による
晩婚化と少子化の進展

取組方針

地域社会における女性の立場や環境を改善し、
安心して子供を産み、育てやすい環境の充実を目指します

アウトカム（将来的に目指す成果）

合計特殊出生率の改善

（婚姻数、出生率の向上、子育て世帯の定住促進）

※R2 合計特殊出生率0.92 → 初期目標1.45

取組み事項

- ①出会いの機会創出と結婚支援の強化
- ②子育てニーズに応えるまちづくり
- ③情報発信・発信ツールの検討・見直し

令和5年度 第2期湯沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況

【戦略1】 新たな人の流れ・仕事の創出に係る進捗状況

【重要業績評価指標（KPI）】	目標値	実績値						達成率
		R2	R3	R4	R5	R6	計	
・リビングラボプロジェクトによる取組	5件	1件	0件	2件	件	件	3件	60.0%
・ゆざわローカルアカデミーの参加者	40人	11人	12人	12人	人	人	35人	88.0%
・都市部からのワーケーション受け入れ企業	5社	0社	1社	1社	社	社	2社	40.0%
・複業・兼業マッチング件数	10件	0件	0件	0件	件	件	0件	0.0%

事業概要1. 関係人口の創出・拡大

<スケジュール実績>

多方面にわたる民間との協働・共創の推進	<計画>					<実績>				
	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
(仮)湯沢リビングラボの設立	→					→				
(仮)湯沢リビングラボ運用開始	→	→	→	→	→	→	→	→		
都市部リビングラボとの連携（ワークショップによる課題共有）	→	→	→	→	→	→	→	→		
関係団体等との連携（ワークショップによる課題共有）	→	→	→	→	→	→	→	→		
共創型プロジェクトの実施		→	→	→	→	→	→	→		
重要業績評価指標（KPI）	目標値					実績値				
リビングラボプロジェクト → 5件		1	1	1	2	1	0	2		

<取組実績及び令和5年度取組概要>

<p>【令和2年度取組実績】</p> <p>①ゆざわりリビングラボプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住・交流推進支援事業助成金を活用し交流拠点の改修（R3.2.13～14 旧酒造会館のタイル張替えに合わせ、改修するタイルに将来へのメッセージを残すイベントを実施、市内中高生をメインに250件を超えるメッセージが寄せられた。また、以前より交流のあった横浜リビングラボ等とのオンラインによる意見交換会も行われ今後の活動について相互協力することで理解を深めた。）
<p>【令和3年度取組実績】</p> <p>①ゆざわりリビングラボプロジェクト</p> <p>プロジェクト第2弾として「旧酒造会館」を活用したタイルメッセージ展及び白井晟一パネル展、ジャズ演奏会については7月下旬のイベント実施に向けて準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症の影響から実施を延期した。</p> <p>代替イベントを2月の犬っこ祭りに合わせて調整したが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大から、再度延期とした。</p>
<p>【令和4年度取組実績】</p> <p>①ゆざわりリビングラボプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チビッコアユつかみ大会の開催（R4.8.15 次世代を担う子供を対象に河川のパネル展及び河川清掃などに取組み、本市の豊かな自然環境の保全や河川美化の意識を育むことを目的に開催。参加者約700人） ・タイルメッセージ展及び白井晟一パネル展、ジャズ演奏会（R4.10.22～23 「旧酒造会館」を会場にこれまでコロナ禍により2回延期していたイベントを開催。参加者約40人）
<p>【令和5年度取組概要】</p> <p>今年度は昨年実施の「チビッコアユつかみ大会」に合わせてカヌー体験教室を開催し、次世代を担う子供達に対し、本市の豊かな自然環境の保全や河川美化の意識醸成を図る。</p> <p>また、当該体験教室に横浜リビングラボの会員や子供たちを招待し、体験による交流促進、ワークショップによる相互理解を進める。</p> <p>更に、「旧酒造会館」を活用したイベントでは、音楽イベントの他、市内学校の美術部の作品展示などを行い、地域活性化の起点創出を図る。</p>

《令和2年度タイル改修イベント及びYOKOHAMAリビングラボとのオンライン交流》



《令和4年度ちびっこアユつかみ大会》



《令和4年度タイルメッセージ展及び白井晟一パネル展、ジャズ演奏会》



事業概要 2. 移住・定住施策の推進・強化

<スケジュール実績>

		<実施計画>					<実績>				
		R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
移住・定住施策の積極的な推進		→	→	→	→	→	→	→	→		
ふるさと交流促進事業実施（ゆざわローカルアカデミー）		→	→	→	→	→	→	→	→		
参加者コミュニティの構築（継続した関わり）		→	→	→	→	→	→	→	→		
地域内の受入体制の強化（関係案内人・案内所）		→	→	→	→	→	→	→	→		
受け皿となる中間支援組織の確立		→	→	→	→	→	→	→	→		
重要業績評価指標（KPI）		目標値					実績値				
アカデミー参加者 → 40人		8	8	8	8	8	11	12	12		

<取組実績及び令和5年度取組概要>

<p>【令和2年度取組実績】</p> <p>①ふるさと交流促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆざわローカルアカデミーの開催（募集説明会、オンラインセミナー4回）受講者11人 <p>②関係人口構築オンラインイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域食材を使用したふるさと食体験イベントの開催（オンラインイベント2回）参加者44人
<p>【令和3年度の取組実績】</p> <p>①ふるさと交流促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆざわローカルアカデミーの開催（募集説明会、オンラインセミナー4回）受講者12人 <p>②関係人口構築オンラインイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域食材を使用したふるさと食体験イベントの開催（オンラインイベント2回）参加者44人
<p>【令和4年度の取組概要】</p> <p>①ふるさと交流促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆざわローカルアカデミーの開催 参加者12人 （募集説明会、現地フィールドワーク2回、報告会1回） <p>②関係人口のマッチング支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆざわお手伝い体験プログラムの実施 R4. 12. 25 第1回「コーヒー体験会」のモニタリング 珈琲焙煎工房バルーガ 2人 R5. 2. 11～12 第2回販売・営業サポート 菓子処わかさ及び湯沢青年会議所 1人
<p>【令和5年度の取組概要】</p> <p>「ゆざわローカルアカデミー」については、対面型による現地フィールドワークを中心とした事業を継続し、地域について主体的に考え、継続した地域づくりに関わる関係人口の構築に向けた取組を推進する。</p> <p>また、これまでのアカデミー卒業生（1～4期生）向けのコンテンツとして、地域との交流密度を深めるため、地域イベントへの参画などの機会を提供し地域を応援する人材の育成に努める。</p>

<令和4年度ローカルアカデミー現地フィールドワークの様子>



事業概要 3. テレワーク・ワーケーションの普及・促進

<スケジュール実績>

		<実施計画>					<実績>				
		R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
テレワーク・ワーケーション等の新たな働き方の提案		→	→	→	→	→	→	→	→		
ワーケーションアライアンスジャパン(WAJ)との連携による普及促進		→	→	→	→	→	→	→	→		
テレワーク・ワーケーション受け入れ環境整備			→	→			→	→	→		
モニター受け入れ			→	→			→	→	→		
運用開始			→	→	→	→	→	→	→		
重要業績評価指標 (KPI)		目標値					実績値				
都市部からのワーケーション受け入れ企業 → 5社		1	1	1	1	1	0	1	1		
複業・兼業マッチング件数 → 10件		1	2	2	2	3	0	0	0		

<取組実績及び令和5年度取組概要>

<p>【令和2年度取組実績】</p> <p>①各種団体との情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーケーション自治体協議会 (WAJ:加入自治体数195【1道22県172市町村】) → 総会や分科会、オンラインセミナーに参加 ・秋田ワーケーション推進協会加入 (R2.10.10 秋田県・県内17市町村含む93団体が加入) <p>②湯沢型ワーケーションの企画検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NECソリューションイノベータ株式会社に企画業務を委託 (関係各所へのヒアリングや市民満足度調査の分析結果などから、ワーケーションの方向性を検討)
<p>【令和3年度取組実績】</p> <p>①各種団体との情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーケーション自治体協議会 (WAJ:加入自治体数207【1道23県183市町村】) → オンラインセミナーに参加 (3回) ・秋田ワーケーション推進協会加入 (R4.3末 秋田県・県内22市町村含む112団体が加入) <p>②湯沢型ワーケーションの企画検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NECソリューションイノベータ株式会社にワーケーショントライアル業務を委託 R3.11.12 第1回湯沢型ワーケーションワークショップ (現地6人、オンライン3人) R4.1.20 第2回湯沢型ワーケーションワークショップ (オンライン11人)
<p>【令和4年度取組実績】</p> <p>①各種団体との情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーケーション自治体協議会 (WAJ:加入自治体数215【1道25県189市町村】) → オンラインセミナーに参加 (1回) ・秋田ワーケーション推進協会加入 (R5.6末 秋田県・県内25市町村含む115団体が加入) <p>②持続可能なワーケーションモデルの検討・実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NECソリューションイノベータ株式会社とのワーケーションの実践 R4.9.30 第1回湯沢型ワーケーションワークショップ (現地8人) R4.12.23 第2回湯沢型ワーケーションワークショップ (現地9人)
<p>【令和5年度取組概要】</p> <p>令和5年度は、これまで連携してきたNECソリューションイノベータと相互による課題共有を図る仕組みを取り入れ事務効率の改善を図るほか、秋田県や関係団体との協議を進めながら、新規事業者のワーケーション受け入れに向けた取組を進める。</p>

<令和4年度ワーケーション・ワークショップの様子>



【戦略2】若者への未来投資による定住の促進に係る進捗状況

【重要業績評価指標（KPI）】	目標値	実績値						達成率
		R2	R3	R4	R5	R6	計	
・地域全体で若者を育成するための未来ファンド（基金）の形成	1件	0件	0件	0件	件	件	0件	0.0%
・就学支援者（湯沢市奨学金利用者）	20人	10人	8人	13人	人	人	31人	155.0%
・留学支援者	30人	0人	0人	0人	人	人	0社	0.0%
・キャリア教育の実施（中・高・大）	20回	3回	2回	2回	回	回	7回	35.0%
・ふるさと納税を活用したGCFによる起業支援	3件	0件	0件	0件	件	件	0件	0.0%

事業概要 1. 奨学金施策振興による若者の回帰促進

＜スケジュール実績＞

	＜実施計画＞						＜実績＞					
	R2	R3	R4	R5	R6		R2	R3	R4	R5	R6	
市産業等の活性化に貢献する高い志のある人材の確保												
①就学支援事業（新たな奨学金制度の創設）												
・現行奨学金制度の拡充・実施	→	→	→	→	→		→	→	→			
・奨学金ニーズ調査	→						→					
・出資企業意向調査	→						→					
・新規奨学金事業詳細設計	→	→					→	→	→			
・未来ファンド（基金）形成・育成プログラム作成		→	→	→	→							
・運用開始			→	→	→							
②奨学金返還助成金交付事業の拡充												
・進路調査	→						→					
・求人調査	→						→					
・新規奨学金事業制度設計	→	→					→	→	→			
・運用開始		→	→	→	→							
重要業績評価指標（KPI）	目標値						実績値					
・地域全体で若者を育成するための未来ファンド（基金）の形成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
・就学支援者 → 20人（湯沢市奨学金利用者）	2	3	5	5	5		10	8	13			

＜取組実績及び令和5年度取組概要＞

<p>【令和2年度取組実績】</p> <p>①奨学金ニーズ調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステイホーム支援ふるさと湯沢便事業の利用学生を対象にニーズ調査を実施 <p>②奨学金返還助成、人材確保に関する事業所アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30人以上を雇用する事業所に対し、奨学金返還助成や人材確保に関するアンケート調査を実施 <p>③奨学金返還助成による支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の市内定着を目的とし、県助成制度と併せて助成金を交付 ※住民登録のある45人 <p>④湯沢市奨学金による就学支援 ・湯沢市奨学金による支援者 10人</p>
<p>【令和3年度取組実績】</p> <p>①奨学金返還助成による支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の市内定着を目的とし、県助成制度と併せて助成金を交付 ※住民登録のある46人 <p>②湯沢市奨学金による就学支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯沢市奨学金による支援者 8人（支援者の内訳：大学7人、高等学校1人）
<p>【令和4年度取組実績】</p> <p>①奨学金返還助成による支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度より支援期間を10年間へと延長し、若い世代の定着に向けた取組を拡充 ・企業が従業員の返還額の一部又は全部を返還する代理返還制度も支給対象に拡充 ※住民登録のある65人を支援（助成額：3,113,264円 ※うち1件は代理返還事業所） <p>②湯沢市奨学金による就学支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯沢市奨学金による支援者 13人（支援者の内訳：大学11人、短期大学1人、専門学校1人）
<p>【令和5年度取組概要】</p> <p>官民一体となって学生を支援することを目的とした未来ファンド（基金）の形成については、市内企業における大卒者の雇用状況等を勘案しながら更に検討を進める。</p>

事業概要2. 中学生（高校生）を対象とした短期留学支援

<スケジュール実績>

		<実施計画>					<実績>				
		R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
自ら未来を切り拓くグローバル人材の育成											
留学支援事業実施（試験的：スタートアップ）		→	→	→							
留学支援事業詳細設計		→	→	→			→	→	→		
未来ファンド（基金）形成・育成プログラム作成			→	→	→	→					
運用開始					→	→					
重要業績評価指標（KPI）		目標値					実績値				
留学支援者 → 30人		6	6	6	6	6	0	0	0		

<取組実績及び令和5年度取組概要>

<p>【令和2年度取組実績】</p> <p>①中学生を対象とした留学支援は、新型コロナウイルス感染症の拡大から中止</p>
<p>【令和3年度取組実績】</p> <p>①中学生を対象とした留学支援は、コロナ禍により依然として海外渡航が困難な状況であったため、実施を見送った。</p>
<p>【令和4年度取組実績】</p> <p>①中高生を対象としたグローバル人材育成セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際教養大学との連携によりグローバルな視点を学ぶワークショップを開催 <p>参加者：中学生6人、高校生11人</p> <p>R4.7.7 オリエンテーション</p> <p>R4.7.10 国際教養大学訪問・学生インタビュー</p>
<p>【令和5年度取組概要】</p> <p>国際教養大学との連携により開催したグローバル人材育成セミナーを拡充・継続実施し、昨年参加した学生への支援強化と新たに留学を希望する生徒の動機付けを進め、留学による新たな価値観の創造を目指した取組を進める。</p>

<令和4年度グローバル人材育成セミナーオリエンテーションの様子>



<令和4年度グローバル人材育成セミナー国際教養大生との交流>



事業概要3. キャリア教育の振興等による地元企業就職者の確保

<スケジュール実績>

		<実施計画>					<実績>				
		R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
産学官等の連携による人材育成											
実施に向けた学校との協議（中学校・高等学校）		→					→				
企業意向調査		→					→				
事業詳細設計		→	→				→	→	→		
運用開始			→	→	→	→					
重要業績評価指標（KPI）		目標値					実績値				
キャリア教育の実施（中・高・大）	→ 20回	0	3	3	6	8	3	2	2		
ふるさと納税を活用したGCFによる起業支援	→ 3件	0	0	1	1	1	0	0	0		

<取組実績及び令和5年度取組概要>

<p>【令和2年度取組実績】</p> <p>①自身のキャリアデザインを考えるセミナーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内高校生を対象とした「湯沢市キャリアデザインプロジェクト」の開催（市内高校生約120人参加） ・市出身の大学生等を対象とした「キャリアデザインプロジェクト」及び「ゆざわつくるカレッジ」の開催
<p>【令和3年度取組実績】</p> <p>①自身のキャリアデザインを考えるセミナーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市出身の大学生等を対象とした「ゆざわつくるカレッジ」の開催 R3. 9. 14 働き方セミナー（マイナビ佐々木部長の講話） 参加者11人 翔北高校による地域課題解決企画に対する参加学生とのアイデアワークショップ R3. 11. 30 ゲストメンターとのワークショップ 参加者12人 （メンター：豊留侑莉佳、雄勝野きむらや木村由伸、アシスト実務工房沓澤優子）
<p>【令和4年度取組実績】</p> <p>①自身のキャリアデザインを考えるセミナーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市出身の大学生等を対象としたキャリアデザインセミナー R4. 10. 4 オンライン同窓交流会 参加者22人（学生15人、教職員7人） 中学時代の恩師とのオンライン交流により、郷土愛の育成を図る R4. 12. 16 自己理解ワークショップ 参加者7人 自己理解を進めることで、自己研鑽への働きかけを行うワークショップを実施 R5. 1. 28 犬っこまつり限定ステッカー製作ワークショップ 参加者7人 株式会社hinataと連携し、犬っこまつりで配布するステッカー製作ワークショップを開催、デザインに興味のある学生や地元に関わりたい学生の支援を展開
<p>【令和5年度取組概要】</p> <p>市出身学生の地元への関心を高めるため、対面型のオフラインによるきっかけづくり、動機付け支援を展開し、継続的なつながりの構築、地元への愛着促進を図る取組を展開する。 また、企業情報の提供や学生間による交流促進を図るため、既に570名の登録があるラインオープンチャットの活用促進を図る。</p>

<令和4年度仕送り支援学生キャリアデザインイベント>



【戦略3】結婚・出産・子育て支援の充実に係る進捗状況

【重要業績評価指標（KPI）】	目標値	実績値						達成率
		R2	R3	R4	R5	R6	計	
・あきた結婚支援センターの加入促進（新規登録者／5箇年）	100 件	19 件	12 件	3 件	件	件	34 件	34.0%
・合計特殊出生率（R元年値1.04）	1.45 以上	1.16 人	1.01 人	0.97 人	人	人	1.09 人	75.2%
・子育て支援に係る満足度の向上（満足度の低い層の割合） ※指標設定の基準となる「子ども・子育て支援ニーズ調査」は5年ごとの調査であるため、参考値として「市民満足度調査」の結婚子育て関連項目の平均値を記載	20 %以下	19.05 %	15.8 %	16.25 %	- %	- %	17.43 %	-
・子育て支援ポータルサイトPV数（現状値の維持）	150 PV	180 回	245 PV	270 PV	- PV	- PV	232 PV	154.4%

事業概要 1. 出会いの機会創出と結婚支援の強化

<スケジュール実績>

出会いの機会創出と結婚支援	<実施計画>					<実績>				
	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
結婚支援コーディネーターの確保・育成	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
結婚支援コーディネーターによる結婚支援	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
独身者の交流促進	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
結婚支援の充実	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
重要業績評価指標（KPI）	目標値					実績値				
あきた結婚支援センターの加入促進 → 新規登録者を5箇年で100人	20	20	20	20	20	19	12	3		

<取組実績及び令和5年度取組概要>

<p>【令和2年度取組実績】</p> <p>①あきた結婚支援センター入会金負担金 ・あきた結婚支援センター入会金助成による結婚支援(件数5件×@10,000円(2箇年))</p> <p>②結婚支援コーディネーターの確保・育成 ・本市に所縁があり都心部で活躍する結婚相談所経営者との結婚支援施策、結婚支援人材の育成について協議</p>
<p>【令和3年度取組実績】</p> <p>①あきた結婚支援センター入会金負担金 ・あきた結婚支援センター入会金助成による結婚支援(件数12件×@10,000円(2箇年))</p> <p>②結婚生活スタート応援事業 ・上限額24万円を30万円に引き上げ拡充支援(件数8件 支援額1,919,000円)</p>
<p>【令和4年度取組実績】</p> <p>①結婚応援スキルアップセミナー及び婚活イベントの開催 ・スキルアップセミナー男女各4回(延べ男性25人、女性28人参加) ・婚活イベント2回(延べ男性20人、女性13人参加)</p> <p>②あきた結婚支援センター入会金負担金 ・あきた結婚支援センター入会金助成による結婚支援(件数3件×@10,000円(2箇年))</p> <p>③結婚生活スタート応援事業 ・結婚する若い世代の支援として30万円を上限に交付(件数6件 支援額1,750,000円)</p>
<p>【令和5年度取組概要】</p> <p>結婚支援について、昨年実施の結婚応援スキルアップセミナー及び婚活イベントを継続実施するほか、新たに仮想空間による婚活支援も展開し、気軽に参加できる環境を整備することで結婚への動機付けも含めた支援を展開する。</p> <p>また、結婚する若い世代を支援する「結婚生活スタート応援事業」については、夫婦とも29歳以下の若い世代の支援拡充として上限額を30万円から60万円へと引き上げる。</p>



湯沢市

本文へ | ご利用ガイド | サイトマップ | お問い合わせ | Foreign Language | 文字サイズ | 拡大 | 標準 | 縮小 | 白 | 黒

くらし | しごと・産業 | まちづくり | 市政 | 観光案内 | 観光・物産

このページを一時保存

あきた結婚支援センターの入会登録料を全額補助します！

印刷用ページを表示する 更新日：2021年2月3日更新

あきた結婚支援センターの入会登録料を全額補助します！

緊急・重要なお知らせ

新型コロナウイルス感染症対策ページ

令和2年10月1日より、湯沢市に住民登録されている方があきた結婚支援センターに入会する際の入会登録料1万円を市が負担します。

<令和4年度結婚応援スキルアップセミナー及び婚活イベントの様子>



事業概要 2. 子育てニーズにこたえるまちづくり

<スケジュール実績>

		<実施計画>					<実績>				
		R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
安心して子どもを産み育てることができる環境づくり											
	出産おめでとう事業	→	→	→	→	→	→	→	→		
	子ども・子育て支援事業	→	→	→	→	→	→	→	→		
	ゆざわライフイベントサポート事業	→	→	→	→	→	→	→	→		
	子育て世帯の負担軽減施策	→	→	→	→	→	→	→	→		
重要業績評価指標 (KPI)		目標値					実績値				
	合計特殊出生率 → 1.45以上を確保 (R元年値1.04)	-	-	-	-	-	1.16	1.01	0.97		
	子育て支援に係る満足度の向上 → 満足度の低い層を20%以下に改善 ※指標設定の基準となる「子ども・子育て支援ニーズ調査」は5年ごとの調査であるため、 参考値として「市民満足度調査」の結婚子育て関連項目の平均値を記載	-	-	-	-	-	19.05	15.8	16.25		

<取組実績及び令和5年度取組概要>

<p>【令和2年度取組実績】</p> <p>①出産おめでとう事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てクーポンの贈呈 @30,000円×165件、曲木のいす贈呈 155件 (秋田木工製造) ・育児費用助成金 (第3子以上の子育て家族に係る育児費用助成金1世帯あたり上限15,000円 63世帯に助成) <p>②子ども・子育て支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育事業、一時預かり事業、病児保育事業等による支援 <p>③すこやか子育て支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副食費全額助成 (所得制限なし) 等による支援 <p>④ライフイベントサポート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供服の詰め合わせ「くるくるリサイクルわくわくパック」を実施 (抽選で150人に配布)
<p>【令和3年度取組実績】</p> <p>①出産おめでとう事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てクーポンの贈呈 @30,000円×138件、曲木のいす贈呈 142件 (秋田木工製造) ・育児費用助成金 (第3子以上の子育て家族に係る育児費用助成金1世帯あたり上限15,000円 99世帯に助成) <p>②子ども・子育て支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育事業、一時預かり事業、病児保育事業等による支援 <p>③すこやか子育て支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副食費全額助成 (所得制限なし) 等による支援 <p>④ライフイベントサポート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供服の詰め合わせ「くるくるリサイクルわくわくパック」を実施 (抽選で145人に配布)
<p>【令和4年度取組実績】</p> <p>①出産おめでとう事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てクーポンの贈呈 @30,000円×129件、曲木のいす贈呈 122件 (秋田木工製造) ・育児費用助成金 (第3子以上の子育て家族に係る育児費用助成金1世帯あたり上限15,000円 114世帯に助成) <p>②産前産後家事ヘルパー事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用実人数6人 利用件数35件 <p>③子ども・子育て支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育事業、一時預かり事業、病児保育事業等による支援 <p>④すこやか子育て支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副食費全額助成 (所得制限なし) 等による支援 <p>⑤子育て支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供服の詰め合わせ「くるくるリサイクルわくわくパック」を実施 (抽選で125人に配布)
<p>【令和5年度取組概要】</p> <p>国の出産・子育て応援交付金を活用し、妊娠届出時及び出生届出時に各50,000円を給付することとし、子育てクーポンの贈呈を廃止する。</p> <p>また、「子どもと家庭の自立応援訪問事業」により、家事・育児等に対して不安や負担を抱える子育て家庭等の居宅を訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・育児等の支援を実施する。</p>

お子様のお誕生、おめでとうございます

お祝い品① 子育てクーポン券 3万円分

次代を担うお子様の誕生を祝福し、子育てクーポン券を贈呈します。



お祝い品② 子ども用曲木椅子



赤ちゃんが、生まれた湯沢という地を愛し、誇りを持って健やかに育ってくれることを願い、市が全国に誇る曲木家具の椅子にお子様のお名前を刻印し、贈呈いたします。



＜「くるくるリサイクルわくわくパック」の内容及び受け渡しの様子＞



事業概要 3. 情報発信・発信ツールの検討・見直し

<スケジュール実績>

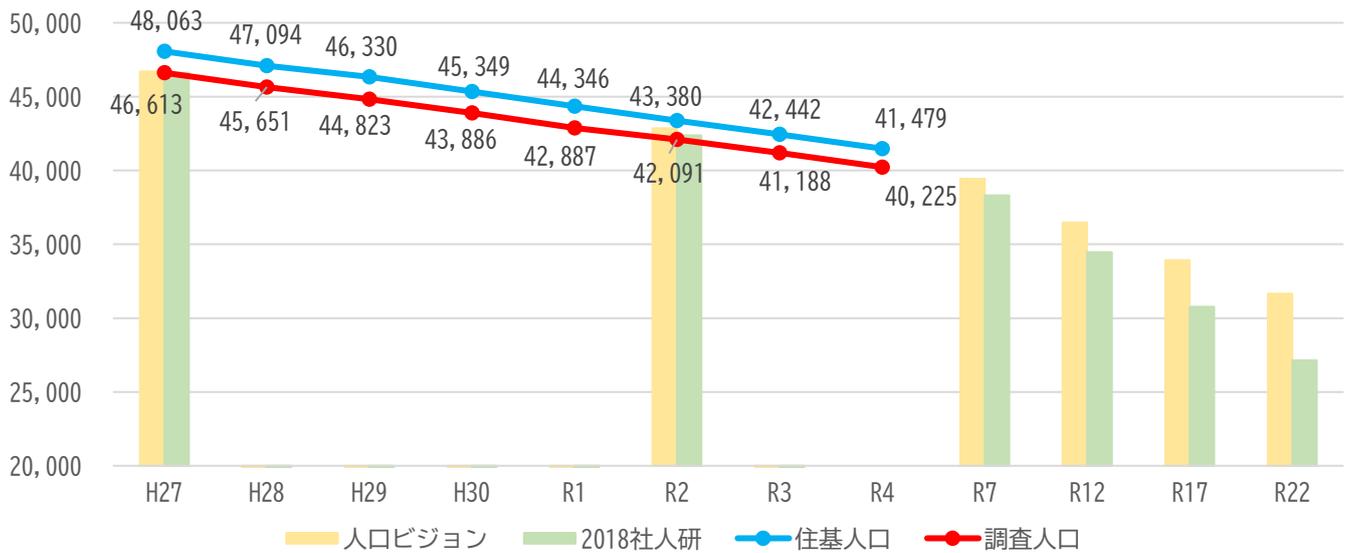
		<実施計画>					<実績>				
SNS等による情報発信手段等の見直し		R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
ツールの検討		→					→				
加入促進PR		→					→				
講習会の開催		→					→				
運用開始		→	→	→	→	→	→	→	→		
重要業績評価指標 (KPI)		目標値					実績値				
子育て支援ポータルサイトPV数 → 現状値(150PV)の維持		-	-	-	-	-	180	245	270	-	-

<取組実績及び令和5年度取組概要>

<p>【令和2年度取組実績】 ①情報発信ツールの見直し ・市ホームページのリニューアルに伴うポータルサイトの整備及び、情報の一元化</p>
<p>【令和3年度取組実績】 市ホームページのリニューアルに伴い子育て情報専門サブサイト「ゆざわ子育てナビ」を設置し、情報の一元化を図ったほか、SNSにより相手に届ける情報発信を意識した取組を進めた。</p>
<p>【令和4年度取組実績】 「ゆざわ子育てナビ」の掲載内容を充実させるため利用者アンケートを実施した。 アンケート結果では、必要としている情報にたどり着くことが出来た方が51.7%と約半数にとどまったほか、遊び場の情報発信が不足している意見もあったことから、子育て世代が必要とする情報の提供に向けて掲載内容を修正していく。</p>
<p>【令和5年度取組概要】 「ゆざわ子育てナビ」の掲載内容の充実に向けて、閲覧数の多いページから修正を図る。 また、LINEの活用について、それぞれのニーズにマッチした情報を発信する「セグメント配信」を導入するなど、情報発信の強化に取り組む。</p>

人口と出生数

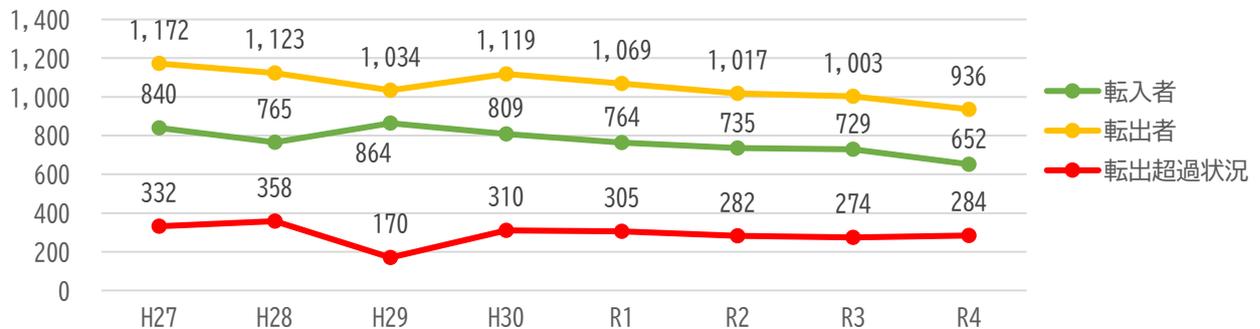
人口集計



年	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7	R12	R17	R22
住基人口	48,063	47,094	46,330	45,349	44,346	43,380	42,442	41,479	-	-	-	-
調査人口	46,613	45,651	44,823	43,886	42,887	42,091	41,188	40,225	-	-	-	-
人口ビジョン	46,710	-	-	-	-	42,860	-	-	39,441	36,485	33,924	31,664
2018社人研	46,613	-	-	-	-	42,371	-	-	38,304	34,467	30,771	27,143

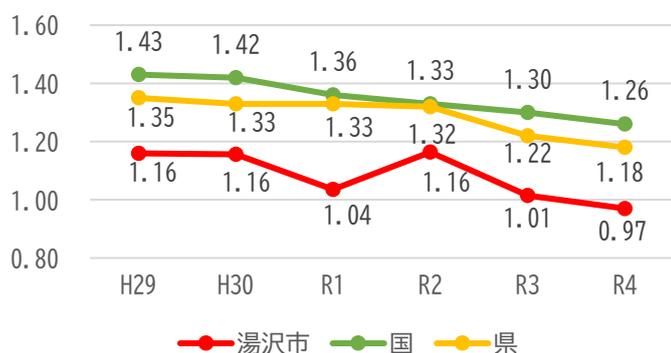
調査人口…国勢調査の年はその数値、それ以外は秋田県人口流動調査の10月1日時点の数値を使用

転入出



年	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
転入者	840	765	864	809	764	735	729	652
転出者	1,172	1,123	1,034	1,119	1,069	1,017	1,003	936
転出超過状況	332	358	170	310	305	282	274	284

合計特殊出生率



年	H29	H30	R1	R2	R3	R4
湯沢市	1.16	1.16	1.04	1.16	1.01	0.97
国	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30	1.26
県	1.35	1.33	1.33	1.32	1.22	1.18
出生数	203	187	159	164	141	125
女性人口	6,989	6,747	6,475	6,188	5,928	5,639

合計特殊出生率：その年における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計しており、各年齢の女性人口は9月末時点のものを使用

国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の概要

改定前の
「まち・ひと・しごと
創生総合戦略」

4つの基本目標

- ① 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
- ② 地方とのつながりを築き、地方への新しい人の流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化させ、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指すため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定

施策の方向

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

① 地方に仕事をつくる

Ex. 中小・中堅企業DX、スマート農林水産業、観光DX

② 人の流れをつくる

Ex. 「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大

③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

Ex. 仕事と子育ての両立、こども政策におけるDX等の活用

④ 魅力的な地域をつくる

Ex. 教育DX、医療・介護DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、防災・減災

地方のデジタル実装を下支え

デジタル実装の基礎条件整備

① デジタル基盤の整備

Ex. デジタルインフラの整備、MNCの普及促進・利活用拡大、データ連携基盤の整備

② デジタル人材の育成・確保

Ex. デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、デジタル人材の地域への還流促進

③ 誰一人取り残されないための取組

Ex. デジタル推進委員の展開、デジタルデバイドの是正、利用者視点でのサービスデザイン体制の確立

従来の基本目標を引き継ぎつつ、社会課題の解決にデジタルの力を活用するとして「デジタルの力を活用した地方の社会課題解決」に加え、地方のデジタル実装を下支えするため「デジタル実装の基礎条件整備」の2つを施策の方向とした。

地方版総合戦略策定・改訂のポイント

策定・改訂プロセス

- デジタル関連の施策を実効的なものとするため、推進組織には、デジタル分野に精通する団体・有識者等に参画を求めることが重要
- 地方創生担当部局とデジタル担当部局をはじめ、庁内の各部局が連携して総合的に対応することが重要
- 地方版総合戦略の策定に必要な調査等を民間コンサルティング企業等に委託することは差し支えないが、起草作業自体は多様な主体の参画を得ながら、地方公共団体自らが行うことが望まれる

地方版総合戦略の構成

- 地方版総合戦略の名称については、地域の実情に応じた名称を設定することが適切だが、例えば以下のような名称が考えられる
 - ・●●市デジタル田園都市国家構想総合戦略
 - ・●●市デジタル田園都市国家構想の実現に向けたまち・ひと・しごと創生総合戦略
- 国の総合戦略の期間が令和5年度～令和9年度の5か年となっていることから、地方版総合戦略の期間も国の総合戦略の期間を勘案して設定するよう努める。ただし、地域の実情に応じた期間を設定することも差し支えない
- 地域の個性や魅力を生かした地域ビジョン(地域が目指すべき理想像)を再構築した上で地方版総合戦略を改訂し、具体的な取組を推進することが重要。そのため、地域ビジョンを地方版総合戦略に記載するよう努めること

戦略の対象となる政策

- 地方版総合戦略に盛り込むべき施策としては、①地方に仕事をつくる、②人の流れをつくる、③結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④魅力的な地域をつくるを中心とすることが望まれる。ただし、特定の分野や施策をデジタルの力も活用しながら重点的に推進するなど、多様なアプローチも考えられる
- すべてが新規の施策である必要はないが、これまでの地方版総合戦略の効果検証を行った上で、デジタルの力を活用して取組を発展させるなど、施策の見直しを行うことが重要

総合計画等との関係

- 地方版総合戦略は、地方の総合計画やDX推進計画等とは目的や政策範囲が一致しないことから、基本的に単独の地方版総合戦略として策定することが適切。ただし、これらの計画等がデジタルの力を活用した地方創生という目的が明確であり、目標やKPIが設定されるなど、地方版総合戦略としての内容も備えているような場合には、これらの計画等と一つのものとして策定することが可能

地方版総合戦略の骨格の具体例

《目標》
 現行の湯沢市総合戦略の「戦略」
 に対応。地域ビジョン達成のため
 の複数の目標（数値目標あり）を
 設定する。

現行戦略の3つの戦略
 ①新たな人の流れ・仕事の創出
 ②若者への未来投資による定住の
 促進
 ③結婚・出産・子育て支援の充実

《基本的方向》
 各目標達成のために取り組む施策
 の基本的方向を記載する。

(例)
《本市の地域ビジョン（目指すべき理想像）》
 本市には、〇〇に強みを持つ〇〇大学や特色あふれる多くの中小企業がある。本市とこれらの大学や企業等が連携することで、地域を支える人材を育成するとともに、地域産業のニーズを踏まえた研究開発により、新たな地域産業の創生や雇用の創出を図る。また、デジタル技術を活用した就労環境等も整えることで、優秀で意欲ある人材が住みたくなる・住み続けたい地域を目指す。そのため、本市の目指すべき理想像は、「地域内外の大学や企業等と連携し、学びと雇用の魅力があふれる産学官協創都市」とする。

《目標》本市への人の流れをつくる

数値目標：・「転職なき移住」の推進による人口の社会増：5年間で〇〇人増加
 ・市外への転出者数：5年間で〇〇人減少

《基本的方向》
 ○ 地方移住への関心の高まりや住む場所に捉われない働き方の一定の浸透を好機と捉え、オンラインも活用した移住セミナーの開催等による地域の魅力発信を行うとともに、どこでも同じように仕事ができるよう必要な環境整備を推進し、副業・兼業を含めた多様な形態での人材を受け入れ、本市への移住を推進する。
 ○ 進学・就職を機に、将来の地域の担い手となる若者の市外への転出者数が増えることを踏まえ、市内の企業や大学等の魅力を高めることにより、魅力ある学びの場と雇用の創出し、地域への定着を図る。

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》
(ア)本市への移住の推進
 ① UIJ ターンによる起業・就業者創出
 オンラインも活用した移住相談対応の実施や移住セミナーの開催、SNS等により移住希望者に向けて情報発信を行い、移住者数の増加を図る。
重要業績評価指標（KPI）：本市相談窓口を通じた移住者数 〇〇人（5か年分の累計）
 （具体的な事業）・移住・交流相談促進事業 ・〇〇〇〇事業

② テレワーク環境の整備
 サテライトオフィスの整備を行うとともに、当該施設の利用促進に向けた情報発信を行う。
重要業績評価指標（KPI）：サテライトオフィスの稼働率：〇%
 （具体的な事業）・サテライトオフィス整備事業 ・〇〇〇〇事業

(イ)本市への定着の促進
 ① 市内の企業や大学等の魅力向上
 産学官で連携し、人材育成や地域の課題解決に取り組むとともに、インターンシップや市内企業の魅力の発信・マッチングを実施することで、本市の魅力向上を図る。
重要業績評価指標（KPI）：市内高校・大学卒業生の市内就職率 〇%
 （具体的な事業）・産学官連携推進事業 ・〇〇〇〇事業

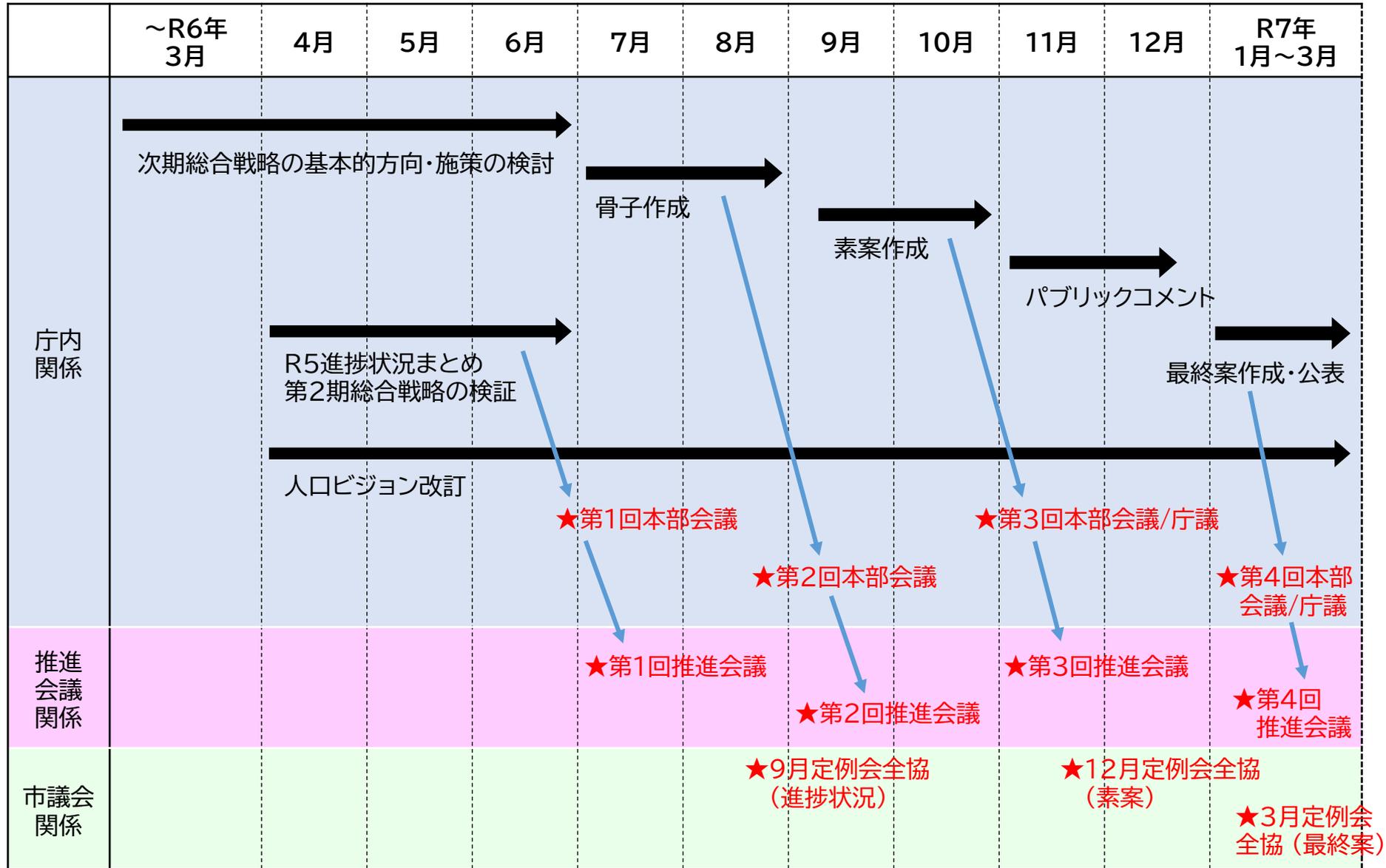
《地域ビジョン（理想像）》
 手引き改訂により新規追加。
 総合戦略により目指す地域ビジ
 ム（理想像）を記載する。

湯沢市が掲げる理想像として総合
 振興計画の将来像「人のつながり
 で磨かれる、熱（エネルギー）あ
 ふれる美しいまち」があるが、こ
 れとは別に総合戦略により目指す
 理想像を記載すべきと考える。

《具体的な施策とKPI》
 各目標達成のために取り組む具
 体的な施策と、重要業績評価指
 標（KPI）を設定する。

KPIの設定は、施策ごとに設定す
 る、複数施策についてまとめて設
 定することが考えられる。

次期湯沢市総合戦略策定作業のスケジュール概要（案）



※スケジュール概要案は検討段階であるため、変更となる可能性があります。